平成１５年版　建築保全業務共通仕様書正誤表

ページ	編	章	節	項目	誤	正	備考
12	第２編	第１章	第１節	1.1.6応急措置等	1.1.6応急措置等	1.1.6支給材料 保守に用いる次の消耗品、付属品等は、特記がある場合を除き、受注者の負担外とする。 (1) ランプ類 (2) ヒューズ類 (3) 発電機･原動機用の潤滑油及び燃料	※
12	第２編	第１章	第１節	1.1.7点検の省略	1.1.7点検の省略	1.1.7応急措置等	※
12	第２編	第１章	第１節	1.1.8点検及び保守 に伴う注意事項	1.1.8点検及び保守 に伴う注意事項	1.1.8点検の省略	※
12	第２編	第１章	第１節	―		1.1.9点検及び保守 に伴う注意事項	※
73	第２編	第４章	第１節	4.1.4フロン類の取扱い	…「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」及び「特定家庭用機器再商品化法」に基づき…	…「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」に基づき…	※
95	第２編	第４章	第３節	4.3.1チリングユニット	表４．３．１(A)　１１．送風機 ａ．Ｖベルト ｂ．軸受 ｃ．羽根	削除 削除 削除 削除	※
98	第２編			4.3.2空気熱源ヒートポンプユニット表4.3.2(A) ５．電気系統	― ― ― ― ― ― ― ― ｄ．接地	ｄ。クランクケースヒーター ①温度の異常の有無を点検する。　IN、OFF ②絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 IN、OFF ｅ．盤 異物の費着、緩み及び変形の有無を確認する。 IN、OFF ｆ．電磁開閉器 異音及び劣化の有無を点検する。　IN、OFF ｇ．接地	※
				６．保安装置	― ― ― ― ― ― ａ．インターロック	ａ．圧力開閉器 設定値で作動することを確認する。　IN ｂ．吐出ガス温度サーモ 作動の良否を点検する。　IN ｃ．断水リレー 作動の良否を点検する。　IN ｄ．インターロック	※
				１１．運転調整	ｂ．電流 送風機の電流が定格値以下であることを確認する。　IN ― ― ― ― ― ― ― ― ― ―	ｂ．音及び振動 異常のないことを確認する。　IN ｃ．主電源電圧及び電流 ①運転時における主電源電圧の変動が、既定値内にあることを確認する。　IN ②主電流、圧縮機電流及び送風機電流が既定値内にあることを確認する。　IN ｄ．冷媒ガス 高圧側及び定圧側の圧力、温度等の冷媒ガスの状態を把握するために必要な計測を行い、その値が許容範囲内にあることを確認する。　IN ｅ．冷凍機油	※

					ー ー c．熱交換状況 ー ー	油圧、温度等を計測し、その値が許容範囲内にある ことを確認する。 IN f．熱交換状況 g．自動制御 温度、圧力、容量及びタイマー制御が設定値で 作動することを確認する。 IN	
118	第2編	第4章	第3節	4.3.7パッケージ形 空気調和機	表4.3.7(B) 1．水系統 a．加湿給水 第7節「水質管理」の当該事項による。	a．加湿用給水 漏れ及び汚れの有無を点検する。	※
121	第2編	第4章	第3節	4.3.7パッケージ形 空気調和機	表4.3.7(C) 14．運転調整 c．冷凍機油の周期：IN、OFF	c．冷凍機油の周期：IN	※
209	第3編	第1章	第1節	1.1.5点検の範囲	(b)電気室、機械室等の設備室は、1日1回 巡視して異常の有無を…	(b)電気室、機械室等の主要な設備機器の設置場 所は、1日1回巡視して機器等の異常の有無を…	※
229	第3編	第4章	第3節	4.3.2空気調和等関連 機器	表4.3.1 4．冷却塔 (⑤なし) 5．ユニット形空気調和機及びコンパクト型 空気調和機 (③なし) (④なし)	4．冷却塔 ⑤ 冷却水の汚れの有無を点検する。 周期：1W 5．ユニット形空気調和機及びコンパクト形 空気調和機 ③ 加湿器の汚れの有無を点検する。 周期：1M ④ 排水の良否を点検する。 周期：1M	※
258	第4編	第3章	第1節	3.1.2作業内容	表3.1.1の周期：1M	表3.1.1の周期：2M	※
274	第6編	第2章	第2節	2.2.4業務内容	(a)基地局において、…‥ (b)施設の外部及び…‥ (1)施設の…‥ (2)施設管理担当者… (3)基地局へ…‥ (4)警察、…‥	基地局において、…‥ 施設の外部及び…‥ ①施設の…‥ ②施設管理担当者… ③基地局へ…‥ ④警察、…‥	

注記：備考の※は、第2刷で修正済を示す。